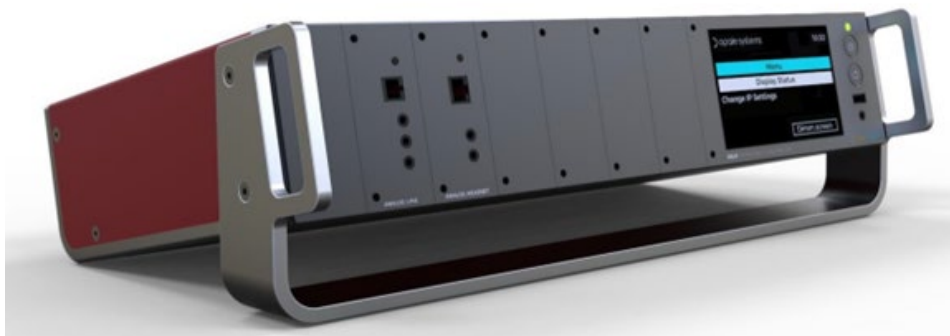


2022年7月29日  
株式会社東陽テクニカ

## 音声品質測定 MultiDSL A システム 新型モデル「DSL A3」を発売 ～ 6 スロットシャーシとラインモジュールで用途に合わせた構成が可能に～

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下東陽テクニカ)は、音声品質評価システムのリーディングメーカーである仏・Opale Systems 社製 MultiDSL A システムの新型モデル「DSL A3」を 8 月 1 日に国内で販売開始いたします。「DSL A3」は 6 つのスロットを持つシャーシとラインモジュールで構成され、用途に合わせたシステム構成が可能になりました。また、従来数値の 2 倍となる、96kHz サンプリングレート対応アナログデジタル変換回路搭載モジュールを組み込んでいます。



新型モデル「DSL A3」

### 【背景／概要】

昨今、世界的な DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進やリモートワークの普及拡大により、5G や 6G とした次世代高速通信への期待とともに音声品質評価の需要も高まっています。Opale Systems 社製 MultiDSL A システムは、音声品質客観評価アルゴリズムを用いて、電話サービス、通話アプリ、音楽配信サービスといったあらゆる音声サービスや音声端末機器の音声品質を評価することができ、ラボ試験やフィールド試験、音声品質管理など幅広い用途に適用可能なシステムです。音声品質測定の標準機として、欧米や中国を中心に、大手通信事業者や端末機器メーカーなどに多く採用されています。

このたび、MultiDSL A システムの新型モデルとして「DSL A3」を国内で販売開始いたします。6 スロットのシャーシと各種ラインモジュールで構成され、利用目的に合わせてモジュールの構成を組むことが可能です。PSTN 回線、電話機ハンドセット、PTT などあらゆる種類のモバイルデバイスに接続できる各種モジュールの選択ができます。また、既存モデルでは対応サンプリングレートが 48kHz まででしたが、「DSL A3」では 96kHz まで対応できるようになりました。これにより、今後さらに高まるであろう高速通信にも適応いたします。

2023 年 3 月には、携帯端末機評価やハンドセット評価といった用途に有用な HATS 用バランスポートモジュール、2024 年 6 月にはさらに小型化したスモールフォームファクターを発売予定です。

東陽テクニカは、「DSL A3」の提供を通して、国内における音声品質評価の向上を支援し、技術革新と産業発展に貢献いたします。

## 【 主な特長 】

- 6 スロットシャーシ、RJ11PSTN アナログラインモジュールなら最大 6 チャンネル搭載可能
- 96kHz サンプリングレート対応
- ユーザーオリジナル WAV または PCM 形式音声ファイル使用可能
- サイン波：20Hz～22kHz (スイープおよびノイズ含む)、-99dBm～+10dBm
- DTMF：-99dBm～+10dBm、ユーザー定義ツイスト、周波数オフセット
- ダブルトーク有/無による音声品質評価

## 【 製品データ 】

製品名(型番)：DSL3 シャーシ(DSLA3)、RJ11PSTN FXO アナログラインモジュール(DSLA3-MO-AL)、RJ22 アナログハンドセットモジュール(DSLA3-MO-AH )

発売時期：2022年 8月 1日

### <Opale Systems 社について>

Opale Systems 社は、フランスで 2009 年に起業以来、音声品質解析の先端製品を提供しています。Opale Systems 社が提供する MultiDSL3 システムは、VoIP、モバイル、衛星、およびインターネットを用いたさまざまな音声サービスの品質を保つために欧米や中国を中心に使われています。サービスプロバイダの音声サービス品質管理、携帯端末メーカーや電話機メーカーの製品評価、ネットワークインテグレータの VoIP システム検証に大きく貢献しています。

Opale Systems 社 Web サイト：<https://www.opalesystems.com/>

### <株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953 年の設立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G 通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

### ★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL：03-3279-0771(代表)

E-mail：[marketing\\_pr@toyo.co.jp](mailto:marketing_pr@toyo.co.jp)

製品サイト：<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/mnts-1-ty.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。